

# 人と牛の暑熱対策でセミナー

## ドローンで屋根に遮光剤を散布

### 広島県立総合技術研究所 畜産技術センター



ドローンで牛舎の屋根に遮光剤を散布、80人が参加したセミナー



セミナーの様子

【広島】県立総合技術研究所畜産技術センター(庄原市)は今月初め、人と牛の暑熱対策のセミナーを庄原市で開き、畜産農家や指導関係機関など約80人が参加した。

近年の地球規模の温暖化の影響で夏季の最高気温は40度に迫り、猛暑日の日数も年々増加傾向にあり、労働環境の悪化や牛の生産性の低下が課題となっている。乳量低下などによる経済損失は40億超と推定されている。

## 「土師の獅子舞」を奉納

福岡・桂川町 土師老松神社

### 五穀豊穣 家内安全願う民俗文化財

【福岡】桂川町の土師老松神社で4月25日、「土師の獅子舞」が披露された。この獅子舞は約700年前に五穀豊穣・家内安全を願って始まったと伝えられ、毎年5月1日に奉納される。



舞は、雄雌2頭の獅子が唐(現在の中国)から日本に向かい、互いに励まし合いながら東シナ海の荒波を越える様子を表現している。その歴史の長さや芸術性の高さから県の無形民俗文化財に指定されており、遠方からも見学者が訪れる。

## 親子が笑顔で田植え楽しむ

愛知・大府市農業委員会

「稲刈りが待ち遠しい」との声も



田植えを体験する親子たち。田植えを行った。子どもたちの多くは田んぼに入るのが初めてで、手も足も泥だらけになりながらも、笑顔いっぱい田植えを楽しんだ。

【愛知】大府市農業委員会(久野一弘会長)は6月6日、神田こども幸齢者交流センターと協力し、「親子田植え体験会」を同センター近くの圃場で開催した。

参加者は農業委員から植え方を教わりながら田んぼに入り、苗を手にとり、久野会長は「田植えから稲刈りまでを体験することで、食の大切さや感謝の気持ちや育み、農業への関心を持ってもらえたらうれしい」と話した。

## 沿線農家から農産物を直接仕入れ

大阪・京阪百貨店 地産地消・都市農業を後押し

【大阪】(株)京阪百貨店(守口市)は食育活動の一環として、地域農家の応援プロジェクト「京阪沿線」に取り組んでいる。

枚方市、交野市、門真市など京阪沿線の農家から卸売業者を通さず直接農産物を仕入れ、新鮮な生産者などにもいる。

## 労務管理は従業員ファースト

沖縄・南城市 沖縄ファーム

外国人労働者と調和図り堅実経営



右端が大城専務、右から3人目が嘉数さん

【沖縄】南城市大里の農業法人(有)沖縄ファーム(大城洋代表取締役)は露地7畝でレタス類を中心に、キャベツやタマネギなどを生産している。

「自社がうまくいっているのは真面目な従業員のおかげ。これからも従業員ファーストを続けたい」と語った。

## 水稲・麦・野菜で農地を集積

香川・丸亀市 亀山

新規加入者増え平均年齢が低下



【香川】丸亀市の(株)山(小林靖典代表理事)は、集落営農により地区の農地約30畝の半分程度を集積し、水稲と麦類に加え、プロットコーンを組み入れ、11期目の事業年度に入っている。

## 「地産地消、おいしい食材の宝庫再発見キャンペーン」実施中 — 兵庫県



魅力いっぱいの景品が抽選で当たる

【兵庫】県はキリンビバレッジ(株)、ひよこの美味し風土拡大協議会と共催し「兵庫県地産地消おいしい食材の宝庫再発見キャンペーン」を実施している。

応募期間は7月6日(当日消印有効)まで。レシート有効期間は5月18日～7月5日。応募先は日本郵便(株)銀座郵便局「郵便私書箱」第5922号「第6回兵庫県地産地消おいしい食材の宝庫再発見キャンペーン」係。詳細はキャンペーンサイト(https://www.kirin.co.jp/area/kinki-hyogo\_2026/)、または、フリーダイヤル0120-6855-036(土日・祝日を除く10時～17時)まで。

【参考】SDGs食育フェスタや農業体験ツアーを展開するなど多様な取り組みが評価され、2026年の農水省の「第10回食育活動表彰」で農林水産大臣賞を受賞した。

【香川】丸亀市の(株)山(小林靖典代表理事)は、集落営農により地区の農地約30畝の半分程度を集積し、水稲と麦類に加え、プロットコーンを組み入れ、11期目の事業年度に入っている。